



①社協職員基礎研修(県社協ニュース) ②ホッと一息しません?カフェ・③笑笑カフェ(いばら赤羽根カフェ/現場からの発信) ④熊本地震被災地支援ボランティアバス(県社協ニュース)

# 岡山県社会福祉 8

## 特集 矯正施設出所者への福祉的支援を考える ～福祉関係者・専門職との連携～

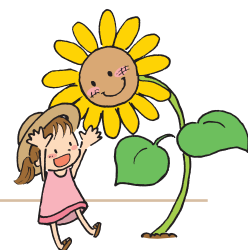
p2

**p5** 赤い羽根共同募金  
寄付つき商品 地域支援プロジェクト/平成27年度 共同募金結果報告

**p6** 県社協ニュース  
平成28年熊本地震 復興支援活動のご報告  
新企画「社協職員基礎研修(CSW研修)」を開催!  
ゆうあいセンターからのご案内  
「岡山県運営適正化委員会」委員の決定  
福祉サービスに関する苦情解決報告(平成27年度)  
イメージキャラクターグループ名 愛称募集

**p10** 現場からの発信  
何も特別なことがなくても、話せる、過ごせる、笑える、  
そんな地域の茶の間 ～いばら赤羽根カフェ～

**p12** 「ふくし」の仕事人たち  
SELP商品のご紹介



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会  
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>  
Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。



# 矯正施設出所者への福祉的支援を考える

## 福祉関係者・専門職との連携

刑務所等の矯正施設において、高齢者・障がい者など福祉を必要とする者が收容されているという実情が知られるようになってきました。彼らが落ち着いて生活をするためには、ひとりひとりにあった居場所や福祉関係者の支援が必要です。

今回の特集は、岡山刑務所における高齢者・障がい者の状況から、出所者への福祉的支援のあり方と、福祉関係者・専門職への期待について取材しました。

### 犯罪白書に見る高齢者・障がい者の状況

矯正施設での受刑者の総数は、平成19年頃より減少傾向となっておりますが、高齢者の入所受刑者人員の推移（最近20年間）をみると、年々増加しています。入所受刑者総数に占める高齢者の比率（高齢者率）も、同様に増加しており、特に女子はその傾向が強くあります。また、高齢者は入所受刑者全体と比べて、再入所者の割合が高いようです。（平成27年版犯罪白書より・図参照）

高齢者の罪名としては『窃盗』

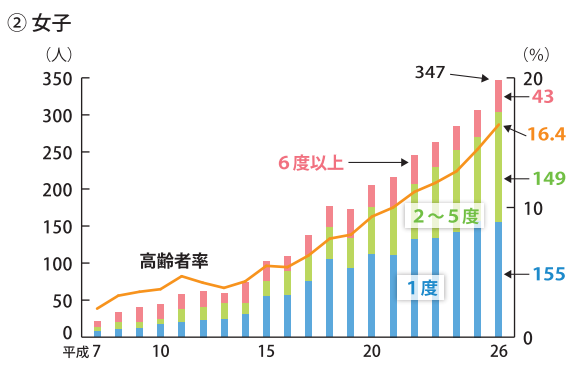
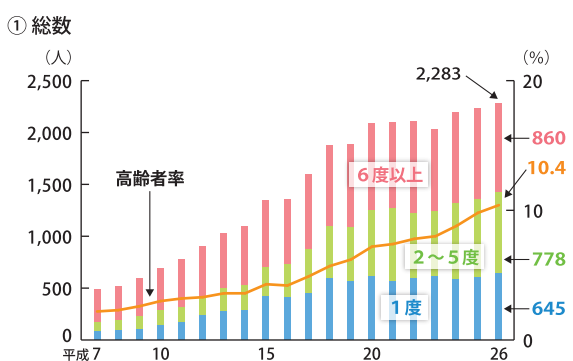
の割合が際立って大きく、また再犯をする者も多くみられます。その動機は男子高齢者は『自己使用・費消目的』、背景事情は「家族と疎遠・身寄りなし」が最も多く、女子高齢者の動機はお金を使うのがもつたいたいといった「節約」、背景は「近親者の病気・死去」が最も多いという結果になっています。（平成26年版犯罪白書より）

また障がい者について、平成21年の入所受刑者総数28,293人のうち、精神障がいを有する者は2,151人（7.6%）であったのに対し、平成26年の入所受

刑者総数21,866人のうち、精神障がいを有する者は2,67

3人（12.2%）と、こちらも増加傾向にあることが読み取れます。

高齢者の入所受刑者人員（入所度数別）・高齢者率の推移（総数・女子別）



注 1 矯正統計年報による。  
 2 入所時の年齢による。  
 3 「高齢者率」は、入所受刑者総数及び女子の入所受刑者に占める高齢者の比率をいう。



岡山刑務所長  
林 隆志 氏

### 岡山刑務所の状況

岡山刑務所は、岡山市北区牟佐にある男性受刑者を収容する刑務所です。執行刑期が主に10年以上で犯罪傾向が進んでいない者を収容しています。

平成17年末の時点では、被収容者数730人の内、60歳以上の者は155人（約21%）でしたが、平成27年末時点では、被収容者数540人の内、60歳以上の受刑者が168人（約31%）と、10年間で受刑者の総数は減少しているにも関わらず、高齢者が数・割合ともに大きく増えています。

障がい者についても、平成27年末時点で、身体・精神・知的等の障がいがある者（手帳等を保持している等）約12%、またIQ相当

値が70以下の者（知的障がいが疑われる者）約18%と、一般社会よりも障がい者の割合が多い状況がうかがえます。

### 高齢・障がい受刑者への処遇

実際に、刑務所内での高齢者・障がい者はどのような状況であるのか、岡山刑務所 林所長にお話を伺いました。

『岡山刑務所は老朽化のため、バリアフリー等の介護上に必要な建物構造や設備が整っていません。そのため、居室や作業所の指定には苦慮しています。現在の対応では、階段へ手すり・居室内へのベットの設置、自立歩行支援用のカーン・杖の整備のほか、歩行時に運動靴（通常はスリッパ）を履かせて転倒防止を行うなどの配慮をしています。』

受刑者は懲役に服しているため作業を行う必要がありますが、手・指先を使う軽作業に従事させるようにしています。また、衣類や寝具を多く貸与したり、冬には湯たんぽも用意するなど体調面に配慮したり、食事は刻み食・食事

時間の延長等により誤嚥が起らないよう注意しています。

コミュニケーションを取る際にも、大きな声でゆっくりと、何度も繰り返し、筆談も交えるなど、話の内容を理解しやすいようにする工夫が求められます。

受刑者は、生活が安定してはじめて指導を受け入れられる状態になります。まず環境を整えて、それから犯罪に対する自覚・反省を促す対応を行います。そして社会復帰を見据えて、身の回りのことは時間を要しても自分でさせる、所内規則は一般受刑者と同様の基準で守らせるという指導を行っています。高齢者のプライドや自尊心にも配慮し、理解できるまで繰り返し伝えるようにしています。

一方で出所後の生活のため、刑務所内で要介護認定を得るために、判定時の資料として日常の行動観察メモを作成したりもしています。

これらの対応は、高齢・障がいがある受刑者に当然必要であるため行っていることですが、刑務官をはじめ刑務所職員の福祉的支援は増加する一方です。福祉のセーフティネットの一部が刑務所にな



岡山刑務所処遇部企画部門(分類) 統括矯正処遇官 小田川 英行 氏

### 福祉的支援の現状

『次に釈放時保護業務として福祉関係機関等との連携を行っている、処遇部企画部門（分類）の小田川統括矯正処遇官にお話を伺いました。』

『岡山刑務所は長期刑の者が対象であるため、収容中に親族・知人が亡くなったり疎遠になるなど、引受先がないケースが多くあります。また収容中に高齢に達したり、病気によって障がいを負ってしまうなど、出所時に福祉的支援を必要とする者が増えています。』

地域生活定着支援センターが設置された後は、センターと協力して出所後の支援につなげていきますが、受刑者の中には「自分ででき

るはず」「福祉施設には入りたくない」との思いから、センターの支援対象となることを希望しない者もいます。その者に対しても、出所直前まで行政や保護施設と調整を行い、できるだけ支援者につながるよう配慮しています。』

**福祉関係者・専門職との連携**

林所長、小田川統括の二人に改めて福祉関係者へ希望する事を伺いました。

『出所後の「居場所」の確保をお願いしたい、ということに尽きます。岡山刑務所の受刑者の約半数は、出所時に65歳を超える見込みです。出所直後からの福祉的支援の必要性は増々高まっています。』

特に地域生活定着支援センターの支援を希望しなかった出所者（要介護者や障がい者）の支援に協力をお願いしたい。刑務所側も行政・福祉につながる努力を最大限行っています。

そのうえで出所者については、特別な人ではなく、普通の人として、通常の支援を行っていただきたい。会っていただければわかる

と思います。岡山刑務所の受刑者は、長期の受刑により悔い改めている者がほとんどです。

高齢・障がいの受刑者は、福祉的支援が得られていたら、そもそも犯罪をしなかったと推測されるケースもあります。少年院の状況等でも、知的障がいや疑われる者や発達障がい等の精神疾患を持つ者の割合が一般社会に比べて高い状況があります。受刑者の中には少年時代に適切な支援を受けられないまま成人となり、重大犯罪を犯すケースも見られます。これらの者を刑務所に入れるのが果たして適切か、もっと早い段階で福祉と結びつけるべきではないか、という議論もされるようになってきました。

矯正施設出所者への福祉的支援にあたっては、福祉関係者・刑務所双方がお互い理解し合い、連携をとることが大切です。』

**岡山県地域生活定着支援センターから**

岡山県社会福祉協議会では、県からの業務委託を受け、平成23年1月より地域生活定着支援センタ

ーを設置し、福祉を必要とする矯正施設出所者の支援に取り組んできました。

この間、多くの福祉関係者の協力をいただき、一定の成果を上げてきました。

やり直そうとしている人の立ち直りを助け、二度と犯罪に手を染めることがないようにすることは、安全・安心な社会につながります。矯正施設と福祉関係者・専門職の連携が円滑に行えるよう、本センターとしても取り組んでいきます。

受刑者の作品例



**岡山刑務所で『社会科見学』しませんか？**

全国の受刑者が作った木工品、布製品などを展示即売する矯正展が毎年、岡山刑務所で開催されています。岡山刑務所からは備前焼や家具などが出品され、職人域に達した商品を安価で購入することができます。他にも、様々なイベントや刑務所内の見学等が企画されています。

**『岡山刑務所【矯正展】』**

- 開催日：平成28年10月15日(土)～16日(日)
- 会場：岡山刑務所（岡山市北区牟佐765）

〈お問合せ先〉 岡山刑務所 作業部門 TEL：(086) 229-2534

# 赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会

## 赤い羽根共同募金「寄付つき商品 地域支援プロジェクト」

岡山県共同募金会が本年度から新たに進めている事業で、企業等の「社会貢献活動」と「赤い羽根共同募金」を結びつける新しい取り組みです。

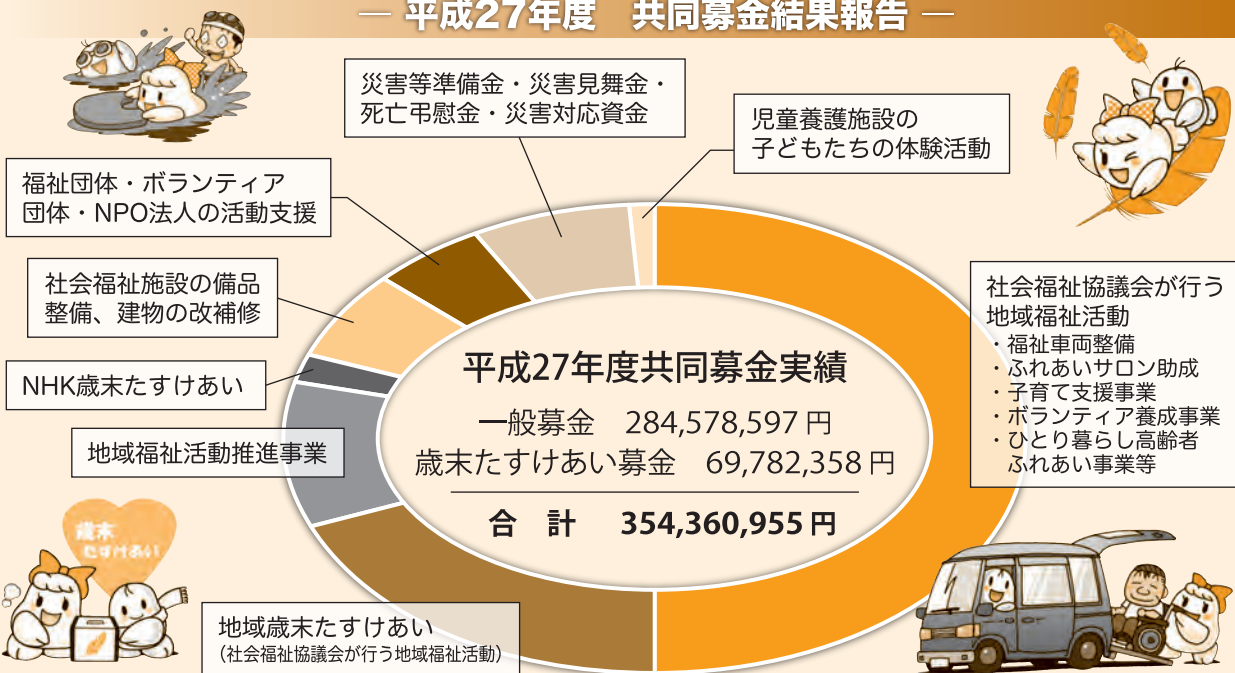
このプロジェクトは、企業が通常の営業・販売活動の中で「寄付つき商品・企画」をつくり、当該商品・サービスの売上の一部を共同募金会に募金（寄付）することにより、企業等が所在する地域の福祉活動を支援することを目的としています。

多くの企業等の参加を目指していきます。



第1号参加企業との調印式（H28.7.27）

### — 平成27年度 共同募金結果報告 —



### “お車の共済の事なら！”



お見積り、ご相談、無料で承りますので  
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927  
岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F  
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25  
TEL: 092-441-5901

NJ730. 1603. 0250. 999999

### ●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)  
FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

## 平成28年熊本地震 復興支援活動のご報告

平成28年4月14日に発生した「平成28年熊本地震」および以降の本震を含む連続地震により、熊本県を中心に甚大な被害が発生しました。今後も、被災地では懸命な支援活動が続いています。

本会における、復興支援活動について報告します。

### 被災地への職員の派遣について

被災地に開設された災害ボランティアセンター（以下、災害VC）では、復興支援活動の大きな力となるボランティアと支援を求め、被災者をつなぐ活動を行います。

本会は「中国ブロック県・指定都市社会福祉協議会 災害時の相互支援に関する協定」に基づき、（熊本県）御船町へ職員を派遣し、災害VCの運営支援にあたりました。7月1日までに県内社協の協力のもと、27名の職員を派遣しました。

また、被災世帯に対する生活福

祉資金緊急小口資金の貸付業務支援のため、2名を現地に派遣しました。

### 災害ボランティアバス運行

6月1日～4日に岡山県と岡山県共同募金会の協力によりボランティアバスの運行を行いました。今回は、車中2泊、現地1泊、活動2日間の日程で御船町に向かいました。参加者は20代～70代までの20名（男性16名・女性4名）です。

活動は、被災者宅のがれき・廃材の収集及び運搬、家財等の運び出し及び分別作業、土嚮作りと斜面整備など多岐にわたり、全7件のニーズに取り組みました。



災害ボランティアセンターの様子

被災者との交流も大切にしながらの2日間の活動を無事に終え、岡山へ帰ってきました。



ボランティア活動の様子

被災地では、少しずつ日常生活を回復していこうとしています。

今後は再建後の自宅、または仮設住宅での孤立防止に向けたサロン活動や不安を抱える被災者の方に寄り添う見守り・声かけ活動、子どもたちの遊び相手など、さまざまな活動が必要とされます。また、「募金活動」など岡山でもできる支援もあります。

今後の復興に向けて、被災地のことを忘れず、心を寄り添わせながら、引き続き、息の長い支援をしていきましょう。

## 社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

曲  
新会計基準  
移行チェック

- ・財務諸表等の承認や公開は正しくできていますか?
- ・ワンイヤールールを適用した決算書になっていますか?
- ・国庫補助積立金の取崩は正しくできていますか?

曲  
記帳代行  
サービス

- ・決算をしてみたらずっと数字があわなかった
- ・やらないとだめなのはわかっているけど他の業務に追われて後回しに...

思い当たるあなたは今すぐ!

### 社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン  
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

〈受付時間〉9:00～17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>  
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに  
ご相談  
ください!



SCB  
社福サポート  
担当  
いしはら

**新企画「社協職員基礎研修  
(CSW研修)」を開催!**



松尾さん(津山市社協 写真左)と  
劔持さん(総社市社協 写真右)

今年度からの新企画「社協職員基礎研修」を5月27日に開催しました。午前は、主に新任者向けに「先輩社協職員の話聞いて、社協のシゴトを考える!」として、ゲストに、津山市社協の松尾さんと、総社市社協の劔持さんをお迎えしました。二人ともとにかく地域を回ることを大切にしている、地域の人から、「あの人と一緒に考えたら面白そうなことできるな」と思われる存在になることが大事、という言葉や、地域の人に教えてもらったという、誠意・スピード・信頼の3Sの法則など、頼もしいアドバイスをたくさんい

ただきました。午後は、山梨学院大学の竹端寛先生をお迎えし、「私から始まる地域づくり 社協が変われば地域も変わる」と題しての講義の後、地域づくりを与えられた仕事として、ワクワクしながら楽しんでためにはどうしたらいいのかを考えながら自分のことを掘り下げるワークショップを行いました。社協職員の基礎は、自分自身だということ、いくら知識があっても、自分が関心をもって、心から地域福祉を進めたいと思っていなはい限り、地域の人を巻き込むことはできず、馴れ合いの関係になつておわる。そのことをゲスト・講師から繰り返し、教わる1日でした。



竹端先生(写真左)の講義風景  
この研修は年内にあと2回開催です。

**ゆうあいセンターからのご案内** 【お問い合わせ先】TEL:086-231-0532 FAX:086-231-0541

**<ボラマネ・カフェ>**

ボラマネ・カフェは、社会福祉施設や病院で、ボランティア受入に取り組む(取り組みたい)“あなた”に来ていただきたいサロンです!施設長などの管理者から受入担当者までが気軽に集まり、茶話会形式でアイデアを出し合います。お互いの取り組みについて情報交換をしながら、実践に繋がるヒントを見つけませんか?(2か月に1回程度開催)

- ◇次回開催日時:平成28年9月27日(火)  
19時00分から20時30分
- ◇会場:きらめきプラザ2階「ゆうあいセンター」  
(岡山市北区南方2-13-1)

**<第4回岡山高校生ボランティア・アワード>**

高校生の皆さんが積極に行ったボランティア活動の努力や想いに敬意を表し、9月に「一般公開プレゼンテーション」および「表彰式」を行います。ボランティア等の社会貢献活動を応援したいという方、高校生のボランティア活動を知りたいという方は是非ご来場ください。



- ◇開催日時:平成28年9月19日(月)  
10時00分から15時00分(予定)
- ◇会場:国際交流センター(岡山市北区奉還町2-2-1)

**福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!**



労務管理で  
困っている

- ・就業規則の見直し
- ・助成金の活用
- ・人材育成
- ・セミナー講師
- ・人材定着
- ・業務の効率化

**Ai あい社会保険労務士法人** ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子  
〒706-0024 玉野市御崎2-3-13

あい社会保険労務士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!  
メルマガはHPからお申し込みください。

「岡山県運営適正化委員会」委員の決定

7月7日に岡山県社会福祉協議会において、「岡山県運営適正化委員会」委員の選考に係る「選考委員会」を開催し、県社協会長が選考・提案した委員候補者について、選考委員の同意のもと、委員を選任いたしました。

委員定数は13名で、任期は平成28年7月18日から2年間となっております。

委員会は、福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の運営監視を行う「運営監視合議体」と福祉サービスの苦情解決にあたる「苦情解決合議体」に編成して活動いたします。

なお、委員の選考にあたる選考委員会委員は、広く住民に対し公示した後、選任いたしました。任期は平成28年7月1日から2年間となっております。

●岡山県運営適正化委員会

分野及び委員氏名（敬称略）		監視	苦情
公益代表	平松 正臣（関西福祉大学教授）		○
	山本 浩史（岡山県立大学准教授）		○
	片岡加代子（くらしき作陽大学専任准教授）		○
	竹中 理香（川崎医療福祉大学准教授）	○	
利用者代表	小寺 紀孝（岡山県保健福祉部福祉政策企画監）		○
	妻井 令三（公益社団法人 認知症の人と家族の会 岡山県支部顧問）	○	
サービス提供者代表	宮本 勇（岡山県知的障害者福祉協会副会長）	○	
法律	西尾 史恵（弁護士）	○	○
	小川 洋（公認会計士）	○	
	中西 崇陽（公認会計士）	○	
医療	岡 友和（公認会計士）	○	
	関 英一（岡山県精神科医療センター医監）	○	○
	岸本 信義（岡山県精神保健福祉士協会副会長）	○	

●選考委員会委員

分野及び委員氏名（敬称略）	
公益代表	安達 悦子（一般社団法人 岡山県介護福祉士会）
	池田美知子（岡山県民生委員児童委員協議会）
利用者代表	鶴川 克己（NPO法人 岡山県精神障害者家族会連合会）
	日下 功（一般社団法人 岡山県手をつなぐ育成会）
経営者代表	福原 文徳（岡山県社会福祉法人経営者協議会）
	虫明 正雄（社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会）

福祉サービスに関する  
苦情解決報告（平成27年度）  
岡山県運営適正化委員会

岡山県運営適正化委員会では、福祉サービス利用者等からの苦情・相談を受け付け、解決に向けて支援を行っています。

平成27年度に本会で受け付けた福祉サービスに関する苦情件数は44件（26年度25件）、苦情に満たない相談件数は55件（26年度52件）で、苦情・相談ともに増加しています。

苦情受付のサービス種別は、障害者関係が36件と大半を占めていました。続いて、高齢関係4件、社協関係3件、児童1件でした。

また、主な苦情内容は、サービス内容（職員の接遇、説明不足・情報提供）に関するものが多く、全体の6割を超えていました。これは、平成26年度と同じ傾向です。

◆苦情の申出・ご相談は  
岡山県運営適正化委員会  
Tel 086-226-9400

 **名鉄観光** サービス株式会社

観光庁長官登録旅行業第55号  
(社) 日本旅行業協会正会員ボンド保証会員  
岡山市北区幸町8-29 三井生命ビル9階

Tel : 086-225-2771 Fax : 086-225-7494 担当 : 中西・西村・深井

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい!

☆日帰りで豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いかな?

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな~!

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが...

旅行の事ならなんでもご相談ください。 様々なご相談、見積、手配もいたします。





おかやまけんしゃかいふくしきょうぎかい  
岡山県社会福祉協議会

イメージ  
キャラクター  
グループ名  
愛称募集!!!

応募締切

2016年9月30日(金)

※郵送の場合は、  
当日消印有効

このたび、岡山県社協のイメージキャラクターが誕生しました!  
岡山県社協の顔として、広報紙やホームページ、イベントのPR活動などで活躍します。  
このキャラクターたちにふさわしい、地域の方が覚えやすく広く親しんでもらえる  
愛称を募集します。皆さんのたくさんのご応募をお待ちしています!!



素敵な名前  
待ってます♡

岡山県民に愛されている岡山の桃が!  
地域の人々のくらしを守るヒーローとなって立ち上がりました!!

地域のなかで、その人らしく自立した生活がおくれる地域社会の実現を目指して、  
5人で力をあわせ、助け合い、地域の課題に立ち向かいます!

物知り  
めがね

**ブルー**

マジメで  
物知りの  
勉強家

岡山県社協  
マーク

愛情クリップ

**イエロー**

明るく元気な  
がんばり屋  
にっこり笑顔が  
トレードマーク

熱血まゆげ

**レッド**

活動的で  
リーダー気質な  
熱血タイプ

桃の花

**ピンク**

心優しい  
癒し系  
思いやりのある  
気配り上手

おにぎり

**グリーン**

食べるの  
大好き!  
みんなを支える力持ち

- 応募資格** 岡山県出身、県内在住または県内に通勤・通学している方
- 応募内容** 応募点数は1人1点までとします。  
1件に複数の応募があった場合は無効とさせていただきますのでご注意ください。
- 応募方法** 「応募用紙」等下記必要事項を記入の上、**郵送・持参・ファックス**のいずれかの方法で応募ください。なお、応募用紙については岡山県社協ホームページよりダウンロードできます。
- 必要事項**
- グループ名の愛称(ふりがな)
  - 愛称の説明(名付けた理由など)
  - お名前(ふりがな)
  - 住所・電話番号
  - 年齢・性別・職業(未就学児・小学生・中学生・高校生・大学生・一般)
- 審査及び決定** 岡山県社協内に設置した選考会において選考します。
- 発表及び表彰** 入賞作品の発表は、平成29年1月頃を予定しています。各賞の入賞者は直接本人に通知するほか、平成29年2月発行の機関紙『岡山県社会福祉』、ホームページ、報道機関等に発表します。

**賞金**

最優秀賞  
1名  
3万円

優秀賞  
4名  
5千円

※同一作品の応募が複数あった場合は、  
抽選により受賞者を決定します。  
※入賞者が中学生以下の場合には、賞金  
相当額の図書カードとなります。



応募先・  
問い合わせ先

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館内  
社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 愛称募集係  
TEL:086-226-2822 FAX:086-227-3566 岡山県社協ホームページ <http://fukushiokayama.or.jp/>

# 現場からの発信

何も特別なことがなくても、話せる、過ぐせる、笑える、そんな地域の茶の間  
〜いばら赤羽根カフェ〜

孤立死や虐待など様々な社会課題を引き起こす要因の一つに、地域における住民同士のつながりの希薄化が挙げられます。その「つながり」を再構築するために「誰でも気軽に集うことができる居場所」をつくり、多様な形で展開している地域も多くあります。

井原市では社会福祉協議会、共同募金会の協力のもと、住民主体による地域の居場所作りが活発に行われています。その立ち上げに赤い羽根共同募金の配分金が用いられ、カフェスタイルで運営されていることから、通称「いばら赤羽根カフェ」として親しまれています。

今月号では、数ある中から三つの赤羽根カフェの取り組みについてそれぞれの代表者にお話を伺いました。

## ホッと一息しません？カフェ

県立公民館分室で毎週月曜日に開店している「ホッと一息しません？カフェ」は、平成27年6月にオープンしました。地区の民生委員と住民ボランティアで運営しており、県主地区にお住まいの方を中心に沢山の方が来店されています。

ご家族やお友達同士で来られる方も多く、一人でコーヒーを飲みに来られたり、当番のスタッフとお話をしに来られる方もおられます。来店者の皆さまからは「特にこれをしてほしいといけない」ということがないから気軽に足を運べる」「このカフェがなければ家にとじこもっていた」といった声もいただいております。地域の中の新たな居場所として一定の成果を

残せているのでは、と感じています。

また、カフェの一角に生活の困りごとや地域内の心配ごとを相談できる窓口も設けていて、その日当番でカフェに入っている民生委員が対応させていただいています。他にも子ども達にカフェの運営をお手伝いしてもらい、来店されている地域の方々との交流ができる企画（「キッズカフェ」体験）等も行っています。

7月からは、運転ボランティアさんにご協力をいただき、送迎車も運行しており、今後ますます多くの方に、また幅広い世代の方にお越しいただけるような工夫をしていきたいと考えています。特に男性や子育て世代の方の来店が少ないので、そういった方々にも足を運んでいただけるようにしていきたいですね。

（代表者：鳥越愛子さん）

## 野の花カフェ美星

美星町で毎週木曜日に開店しているオープンカフェ・スタイルの「野の花カフェ美星」は、野花と

美星の心地良い風に包まれた口グーシヨンが魅力の一つです。

過疎化により、バスの本数が少なくなる中、以前は近くのバス停で、長時間バスを待っている方が沢山おられました。その光景を見て、「バスの待ち時間に気軽に立ち寄れる場所があれば…」と思い、地域でボランティアをされていた人達に声をかけ、カフェをオープンしました。

何も無い地域ですが、昔から支えあい、助け合いの気質は住民の中にしっかり育まれていて、そういった気質が、「いつも来てるあの人」が最近来ていないな」「また



「野の花カフェ美星」開店時の様子

声をかけてみようかな」といったように、地域の中での「気になること」に気付き、気にかけることができる場としてもカフェを機能させているのだと思います。屋外なので、男性の方も足を運びやすいようです。

(代表者：東田富子さん)

## 笑笑カフェ

上出部町の「笑笑カフェ」は、私が以前営んでいたパン屋の店舗を再利用してオープンしました。

パン屋を閉店することになった後も「地域の中で何か役に立ちたい」「空き店舗を利用して皆が集える場所があれば」といった想いがあり、カフェの立ち上げを考えました。最初は私一人の想いがきっかけに動き出しましたが、家族やご近所、自治会の方々にもご理解いただき、協力を得ながら、現在は毎週木曜日に開店しています。

元々地域の中の商店だったこともあり、足を運んでいただきやすく、沢山の方が来店されます。パン屋時代のお客さんと再会できた

り、新たなつながりが作れたり、私自身も楽しみながら携わっています。(代表：三宅由紀恵さん)



左から、鳥越さん、東田さん、三宅さん (ホッと一息しません?カフェ前にて)

井原市では他にも14店の赤羽根カフェが開店していますが、今回お話を伺った3つのカフェについても、特色や形態は三者三様。それは携わっている方々や訪れる住民の方々それぞれの想いを基礎とし、カフェ(＝居場所)が形作られている証と言えるのではないのでしょうか。

### 【お問い合わせ先】

井原市社会福祉協議会

TEL 0866-162-1484

平成28年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます  
ぶくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
**事故・紛争円満解決のために!**

**プラン① 施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険)

■ 基本補償(賠償・見舞)

補償金額	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の強奪を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
お見舞い等	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

◆ 28年度新設 使用者賠償責任補償(プラン3-①オプション)  
社会福祉法人役員の賠償責任補償(プラン4)

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

付補償(B型) 見舞費用加算  
基本補償(A型) 保険料 + 定員1名あたり  
入所: 1,300円  
通所: 1,390円

プラン② 施設利用者の補償  
プラン③ 施設職員の補償  
プラン④ 社会福祉法人役員の補償

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課  
〈保険会社〉 TEL: 03(3593)6824  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJKNK15-17043 2016.02.18作成)

このコーナーでは、本会の会員である施設・団体等で働く「ふくし」の仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。



津山市城下地区民生委員児童委員協議会  
治郎丸 清志 さん

## ①「ふくしの仕事(活動)」をはじめたきっかけは?

民生委員・児童委員の委嘱を受けて2期6年目になります。高校卒業後、津山を離れて都会で働く生活を続けてきましたが、8年前に、定年退職も間近になり、郷里で暮らす義父母の介護の必要にも迫られて、40年振りに津山に戻る決意をしました。

まさに浦島太郎の心境でしたが、地元の同級生たちや町内の皆様が温かく迎えてくれました。郷里に根を張って生きていくためには、近隣の人たちと交流し町内活動に参加することが必須と考えていましたので、町内会長から民生委員を打診された際には、前向きに引

き受けました。

## ②仕事を通じて体験したエピソードがあれば教えてください

民生委員としては、一人暮らしの高齢者の見守りや児童の登下校の見守りを中心に活動しています。今年4月より高齢者向けの「こけないからだ講座」(津山市が参加人数で全国首位)を地元の田町地区でスタートしましたが、その発起・世話人を務めています。この体操講座の目的は高齢者の介護予防にあります。集まって楽しくおしゃべりすることで、高齢者の孤立を防ぐ効用もあります。

当初、週1回の開催で30名程度の参加を予想していましたが、ふたを開けると参加希望者が80名を超え会場に入り切らず、週2回開催することになりました。毎回、会場の入口で参加者をお迎えしております。皆様は笑顔で入って来られ、挨拶を交わし、楽しそうにおしゃべり



こけないからだ講座の様子

## ③今後、どんな活動をしたいですか?

民生委員としての活動では必ずしもありませんが、昨年に秋に地元の田町に開設された津山土岐家財団記念館(故・土岐隆氏が土岐家の武家屋敷跡に私財を投じて市民のための集会場を建設)の地元協力会の運営責任者をボランティアで務めています。故人のご遺志を継いで、町内会などの活動の拠点として活用してもらうため、町内の老人会、青壮年会、子ども会などの活動を誘致しています。

前述の「こけないからだ講座」もその一つです。夏休み中には児童向けの「昔話の語りとオカリナ演奏」を予定しており、保護者や高齢者も参加して3世代の交流も図れると思います。さらに、住民を対象として津山の歴史や文化、陶芸・盆栽など多様なテーマの講演会も開催しています。

これらを通じて住民のネットワークを広げ、高齢者や児童を見守り、安心して暮らせる街づくりの一助になれば、と思っています。

## SELLP商品のご紹介

社会福祉法人 旭川荘  
あおば

あおばの製品でご好評をいただいている、おしゃれほうきです。コンパクトサイズのほうきを、様々な柄の布生地やレースであしらったデザイン豊富なほうきです。大・中・小の3サイズで展開しています。玄関や和室、窓のサッシを掃いたり、車に積んで車内を掃いたり、多用途でお役に立ちます。学習机のちよつと掃きにも活躍しているというお声もいただいています。

お掃除が楽しくなるおしゃれほうき、ぜひお買い求めください。



- 商品名 おしゃれほうき
- 価格(税込) (小)500円 (中)600円 (大)800円
- サイズ(全長) (小)18cm (中)30cm (大)63cm

### 【お問い合わせ先】

あおば  
〒701-2155  
岡山市北区中原664-11先  
TEL(086)275-2074

## 編集後記

今号の特集にて岡山刑務所への取材に同行しました。刑務所内が「社会の縮図」であり、「福祉施設化」していることを改めて認識し、福祉に携わる関係者はそれぞれの役割を果たし、出来ることに取り組み、社会全体の意識を変えていくことも期待されています。